



2020年1月21日

報道関係各位

東京理科大学

**巨大ウイルスに感染したアメーバ細胞の動態を定量的に解析する画像解析プログラムを開発
～位相差顕微鏡で観察可能なさまざまな細胞や、多分野への応用に期待～
記者発表会の開催について**

貴社益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、別紙プレスリリースにつきまして、下記のとおり記者発表会を開催いたしますので、ご取材賜りますようお願い申し上げます。

なお、ご出席いただける場合は、担当者までご連絡いただければ幸いです。

記

■日時： 2020年1月29日（水）14:00～（受付開始 13:30～）

■場所： 東京理科大学 1号館2階 121ゼミ室

■出席者： 理学部第一部教養学科 武村政春教授
理学研究科科学教育専攻博士課程3年 深谷将

■内容： 位相差顕微鏡による「タイムラプス画像」を使い、細胞の大きさや形状の変化、数や動きなどを定量化できる画像解析プログラム「PKA3」を新たに開発しました。「巨大ウイルス」（注）に感染したアメーバを対象に、「PKA3」を用いて解析を行なった結果、巨大ウイルス感染の有無が、アメーバの増殖や形状、運動などに影響を与えることを定量的に示すことに成功しました。「PKA3」は、位相差顕微鏡で観察可能な多くすべての細胞に応用できると考えられるため、今後の細胞生物学の発展に大きく貢献すると期待されます。「PKA3」による解析動画をお見せしながら、ご説明いたします。

（注）巨大ウイルス：粒子サイズやゲノムが通常のウイルスよりも大きく、生物とウイルスの中間的な特徴を持つ存在として注目されています。武村教授らは2019年に、日本の水環境・土壌などから、それまでにない系統の巨大ウイルス「メドゥーサウイルス」や、世界最大のウイルス「パンドラウイルス」の仲間を分離することに成功しており、巨大ウイルスの自然環境中の分布と、感染が生物の生存や進化に与える影響について研究しています。

【会場ご案内地図】

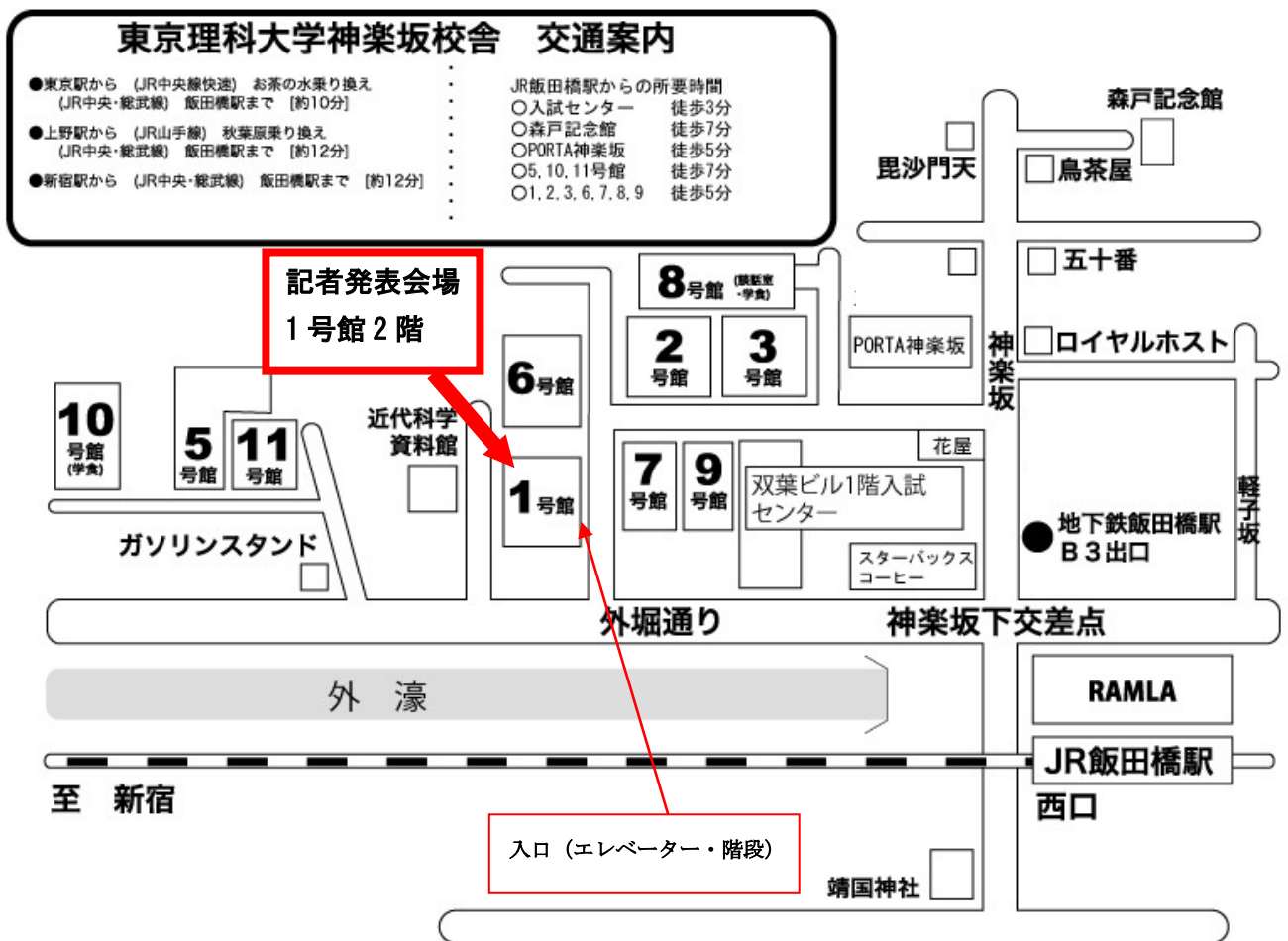
東京理科大学 1号館 2階 121ゼミ室

〒162-8601 東京都新宿区神楽坂 1-3 TEL : 03-5228-8107 (広報課直通)

※駐車場はございませんので、近隣の駐車場をご利用ください。

<アクセス>

- JR 総武線 : 飯田橋駅 (西口) より徒歩5分
- 東京メトロ : 飯田橋駅 B3出口より徒歩3分



～本件に関する問い合わせ先～

東京理科大学 広報課 (担当: 福岡・春原・久保田・河野)

TEL : 03-5228-8107 FAX : 03-3260-5823

E-mail : koho@admin.tus.ac.jp